

平成30年度畜産技術センター試験研究体系図

■新鮮で安全・安心な畜産物の安定供給と地産地消の推進

地産地消を推進するための技術開発

研究期間

県産畜産物の有利販売を支援するための技術開発

- 1 県産畜産物の有利販売を支援する技術開発

重 (1)マーケティング調査手法による畜産物の有利販売支援技術の確立 H28～32 ☆(県)

畜産経営の高度化と安定化を促進するための技術開発

県産畜産物の安定生産を実現するための技術開発

- 1 県産畜産物の安定生産技術の開発

(1)採卵鶏の経済性と飼養環境適合性調査 H29～30 ★(一)

- 2 酪農生産基盤の強化技術の開発

重 (1)新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策 H27～30 ★(県民)

- 3 養豚生産基盤の強化技術の開発

重 (1)系統豚を利用した改良型種豚の開発 H29～32 ☆(県)

重 (2)多産系母豚の飼育管理技術の確立 H30～32 ☆(県)

技術シーズを創出するための調査研究

- 1 県産畜産物の高品質化・高付加価値化および生産効率向上を図る研究

(1)かながわ鶏の飼養管理技術の確立 H29～33 ☆(県大民)

新 (2)国産エンリッチドケージによる飼養管理技術の確立 H30～32 (一)(大)(民)

(3)供胚牛に対する効率的な過剰排卵処理方法の検討 H27～32 (一)(公)(独)

(4)経膈採卵を利用した効率的な肉用繁殖牛生産技術の開発 H28～32 ★(一)(大)

(5)系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立 H15～32 ★(県)

(6)トコリエノール高含有米(オオナリ)の繁殖豚への有効性の検証 H29～30 (一)(民)

新 (8)省力化を担保した丈夫な乳用後継牛を育成する高度哺育プログラムの開発 H30～32 (受)(公)(独)(大)(民)

■畜産業の有する多面的機能の発揮と循環型社会への貢献

未利用資源を有効活用するための技術開発

食品残さ等の未利用資源を有効活用するための技術の開発

- 1 食品残さ等の地域資源を活用した飼養技術の開発

(1)地域資源を活用した鶏卵の生産方法の検討 H28～30 ☆(県)(大)

- 2 未利用農地等における飼料作物栽培技術の開発

(1)飼料作物奨励品種選定試験 H28～32 (県)

(2)ロールベールラップサイレージの品質管理方法の開発 H27～30 ★(県)(民)

(3)不耕起対応高速播種機を活用したトウモロコシ二期作の安定多収栽培技術の開発 H27～31 ☆(受)

環境に調和する畜産を推進するための技術開発

臭気発生が少ない都市型畜産経営技術の開発

研究期間

1 臭気発生抑制・脱臭技術の開発

重 (1)畜産経営から発生する悪臭成分抑制技術の開発

H28～32 ★(県)(大)(民)

地球環境に配慮した生産技術の開発

1 地球環境に優しいエネルギー利用技術の開発

(1)省エネルギー型畜産経営を目指した熱回収利用技術の実証

H28～30 ☆(受)(機)(民)

2 気候変動に対応する技術の開発

(1)不耕起対応高速播種機を活用したトウモロコシ二期作の安定多収栽培技術の開発【再掲】

H27～31 ☆(受)(公)(機)

■シーズ探求型研究推進事業

新 (1) 飼料用ダイズとイタリアンライグラスの二毛作体系による飼料生産技術の開発 H30～32 (県)

(2) 家畜ふんと食品残さを混合堆肥化する際の発生臭気低減に関する検討 H29～30 ★(県)

研究目標

試験研究課題(大課題)

1 試験研究課題(中課題)

重:重点研究課題 5課題 新:新規研究課題 4課題

★:要試験研究問題として提案されたものを実施中であるもの 7課題

☆:平成30年度要試験研究問題として提案されたものを実施又は実施中であるもの 7課題

26課題 財源; ○:一般試験6 (県):県単事業12 (受):受託試験3

外部連携; (機):機構1 (機):独法2 (公):公試2 (大):大学6 (民):民間9